

平成29年8月7日
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	県就農相談ツアー（H28リースハウス団地編）の参加者が就農を決意！
------------	-----------------------------------

（ダイジェスト）

昨年度就農相談ツアー（リースハウス団地編）に参加し4月から飯南町内で産業体験中のK氏が、産業体験先や先輩農業者のアドバイスでパプリカを中心とした自営就農を決意しました。次年度から飯南町農林業定住研修生応募し研修開始予定です。飯南町就農支援チームも農地の確保や就農計画作成など引き続き支援します。

昨年度、就農相談ツアー（リースハウス団地編）に参加し、その後飯南町お試し体験事業で再度来訪されたK氏は、今年4月から飯南町内の園芸農家で（公財）ふるさと島根定住財団が所管するUIターンしまね産業体験事業を活用して1年間の農業体験を開始しました。3か月が経過したことに伴い、7月20日に飯南町就農支援チームはこれまでの状況把握と今後の意向確認を目的に、受入農家を交え本人と就農検討会を実施しました。

K氏は産業体験開始時には今後どのような形で就農するか迷っていて、半農半Xも念頭に入れたスタートでした。初めは毎日の作業でクタクタとなり一日の体験が終了したら夜は何もできないという状況だったが、徐々に作業にも慣れ、農業の面白さが解るようになってきたそうです。一緒に産業体験中のN氏（女性）から「最初は辛そうだったが日々作業に慣れるにつれ表情が明るくなり、体つきが逞しくなってきた」と言われるようになりました。また、体験受け入れ先の家族やN氏と日々の作業や将来についていろいろ語ることで就農に少しずつ傾いていきました。そして、体験先で研修しその後パプリカ栽培で就農した先輩認定新規就農者と出会い、いろいろ話を聞くうちにK氏もパプリカをメインとした自営就農を目指すことが固まったとのことでした。

今後は飯南町農林業定住研修生に応募し来年4月から現受け入れ先で継続して2年間ほど研修を受ける予定です。就農に向け農地の確保、計画作成やなど課題はたくさんありますが、飯南町就農支援チームも引き続き支援を行います。



左：昨年度ツアー参加時のK氏（右から4人目）



右：産業体験中のK氏（草集め作業中）日焼けして逞しくなりました。